

2020年
6月10日

No.259

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24
さざなみネット
 (金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
 TEL・FAX 077-545-5154

新型コロナウイルス感染症の影響で働く仲間の負担が増加

新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言が解除され、感染症は減少傾向になりますが、まだまだ予断を許せません。

金融機関の職場では、資金繰りの相談・融資対応などの必要至急な業務に加え、出勤時間や通勤などの対応として、時差勤務や在宅勤務・自宅待機・マイカー通勤などが実施され、出勤人員が減少しており、多忙のみならず、いわゆる3蜜（密閉・密接・密集）で濃厚接触になりかねない職場実態の中で、健康面・精神面での不安が増大しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、景気の冷え込みや雇用情勢の悪化が進み、ますます地域金融機関の役割が大きくなる一方で労働者の負担が大きくなっており、厳しい労働実態の改善が求められます。

金融労連は、新型コロナウイルスに係る企業の対応について、情報を収集し、実態を把握し、情報を発信しています。一部ですが項目別に次記します。職場の実態を把握し改善していきましょう。

休暇に係る対応

子どもの学校が休校の場合

特別有給休暇（5日間～取得日数制限なし）、特別休暇なく年次有給休暇対応

解雇・休業補償・安全対策・ハラスメント
コロナ問題の困りごとはずく相談

コロナ問題
緊急労働相談
ホットライン

秘密厳守
相談無料

5月16日(土)
午前10時～午後5時
0120-378-060
(フリーダイヤル)

- コロナウイルスによる営業不振を理由に雇止めされた
- 明日から休んでくれと言われた。いつ復帰になるかわからない
- 休んだ分の休業補償をしないといわれた
- 在宅ワークをさせてくれない
- 正規と非正規で補償に差がある
- 勤務日数や時間を短くされた

困っていること・疑問があれば、お電話ください

滋賀県労働組合総連合
NPO 滋賀労働相談センター
住所 大津市梅林1丁目3-30
連絡先 077-521-2536 (担当: 山元)

本人の体調不良・罹患した場合

37度以上の熱ある場合自宅待機（出勤扱い）
ただ風邪の場合は年次有給休暇で相殺、コロナに感染した場合傷病休暇・特別有給休暇、家族及び職場で濃厚接触者は特別有給休暇、育休予定者・緊急事態宣言中は予定日前日まで在宅勤務

労働条件の変更など

スプリット体制（毎日1名を自宅待機としてローテーション）、2班に分け出勤・一方の休みは出勤扱い、4グループに分け交代勤務、緊急事態宣言発令中は特別有給休暇による人員削減、時差勤務、昼休業、繰上退社、「新型コロナウイルスに関する特別慰労金」の支給

コロナ問題 緊急労働相談

5月16日、滋賀県労連と滋賀労働相談センターによって、コロナ問題緊急労働相談を行われました。

(案内チラシ 上)

「解雇され生活が大変」「休業手当が出ない」新型コロナウイルス感染拡大の影響による雇止めや収入減少などの問題について、労働組合の役員や役員などが対応しました。

6月28日には、医療・介護・福祉・保育職員のための労働相談が行われます。協力してコロナから安全と生活を守りましょう。



クチナシ

岩波 美智子さん 画

緊急事態宣言なのに政府が病院・ベッド削減を支援！？ 新型コロナによる医療崩壊を防ぐための緊急署名

昨年9月26日、病床を削減することを目的に、厚生労働省は全国の公立・公的医療機関を対象に、再編・統合の必要性について、「再検証」をおこない、全国424病院について「再編統合について特に議論が必要」とする分析をまとめ、初めて病院名を公表しました。

滋賀県では、独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院、大津赤十字志賀病院、守山市民病院、東近江市立能登川病院、長浜市立湖北病院とされています。

多くの地域に反響が広がり、自治会も協力して「守る会」を結成、存続・拡充を求める要請署名などに取り組んでいる地域もあります。

私たちが加盟している全労連などの労働組合と市民団体が構成している「雇用共同アクション」の「わたしの仕事8時間プロジェクト」は、標記の緊急署名に取り組んでいます。ネット署名もできます。

訴えを下記しますので、是非ご協力ください。

【★緊急署名にご協力ください】 新型コロナによる医療崩壊 を防ぐための緊急署名

日本全国で新型コロナウイルスの感染が拡大しています。まさに緊急事態です。

にわかには信じがたいことですが、そんな状況の中で、政府は公立・公的病院を再編・統合して、病院の数を減らそうとしています。なんと再編・統合する病院には補助金を出すというのです（2020年度予算で200億円以上を計上）。政府は受け入れ患者数を増やすためにベッドを空けるよう病院に要請しつつ、実は同時に減らすことに力を注ごうとしているのです。しかも、税金を使って。

私たちはこの衝撃的な事実を皆さんにお知らせし、政府に政策を撤回させるために、この署名を立ち上げました。署名が求めるのは、地域住民・患者さんの命と健康を守るため、『公立・

病床数を減らし、感染症対応を危機に晒す

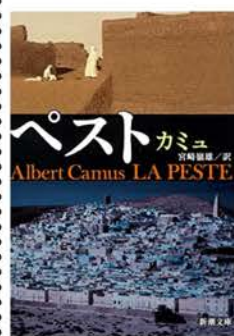
公立・公的病院の 統廃合は中止に

公的病院の再編・統合はただちに撤回して、地域医療を拡充し、病床と医療従事者を増やしてください』ということです。（省略）

政府が名指しした公立・公的病院のうち、24の病院は感染症指定病院です。感染症病床には、いざという時に即応できる体制（医師、看護師、コメディカルなど）が必要となります。日本国内の感染症指定病床は全国で1869床にすぎません。厚労省は3月6日、感染ピーク時の外来患者数は42万8000人、入院患者は22万2000人、重症患者は7467人との推計を示しています。まったく足りないのは火を見るよりも明らかですが、病院とベッドの数を減らすことをやめようとはしません。

政府はなぜ病院とベッドの数を減らしたいのでしょうか？その目的は医療費の削減です。病院とベッドの数が減った分、各家庭や地域、介護施設などに医療が必要な高齢者を丸投げすることに繋がります。そのことに対する適切な構想は何もないままなのです。

当事者である病院や自治体は既に反対の声をあげていますが、このことはまだ広く一般には知られていない状態です。この文章の内容に賛同して頂ける方は、この署名にサインし、この情報を拡散して、ひとりでも多くの方々にこのことをお知らせしてください。新型コロナウイルスから私たちの命を守る医療体制を守るために、みなさん一人ひとりの力が必要です。よろしくお祈りします。



ペスト（新潮文庫）
カミュ（著）
宮崎 嶺雄（翻訳）

る。「ペスト」は、人間がさらされている絶えることのない苦難と不条理という「人間の条件」であると同時に、それに内包された限らない人間の可能性を暗示する作品であり、それは「われ反抗す、ゆえにわれ在り」である。

「ペスト」は、人間がさらされている絶えることのない苦難と不条理という「人間の条件」であると同時に、それに内包された限らない人間の可能性を暗示する作品であり、それは「われ反抗す、ゆえにわれ在り」である。

カミュ 「ペスト」 を読んで



アルベール・カミュ